

# 千葉大学 全員留学

**ENGINE**  
CHIBA UNIVERSITY  
SINCE 2020

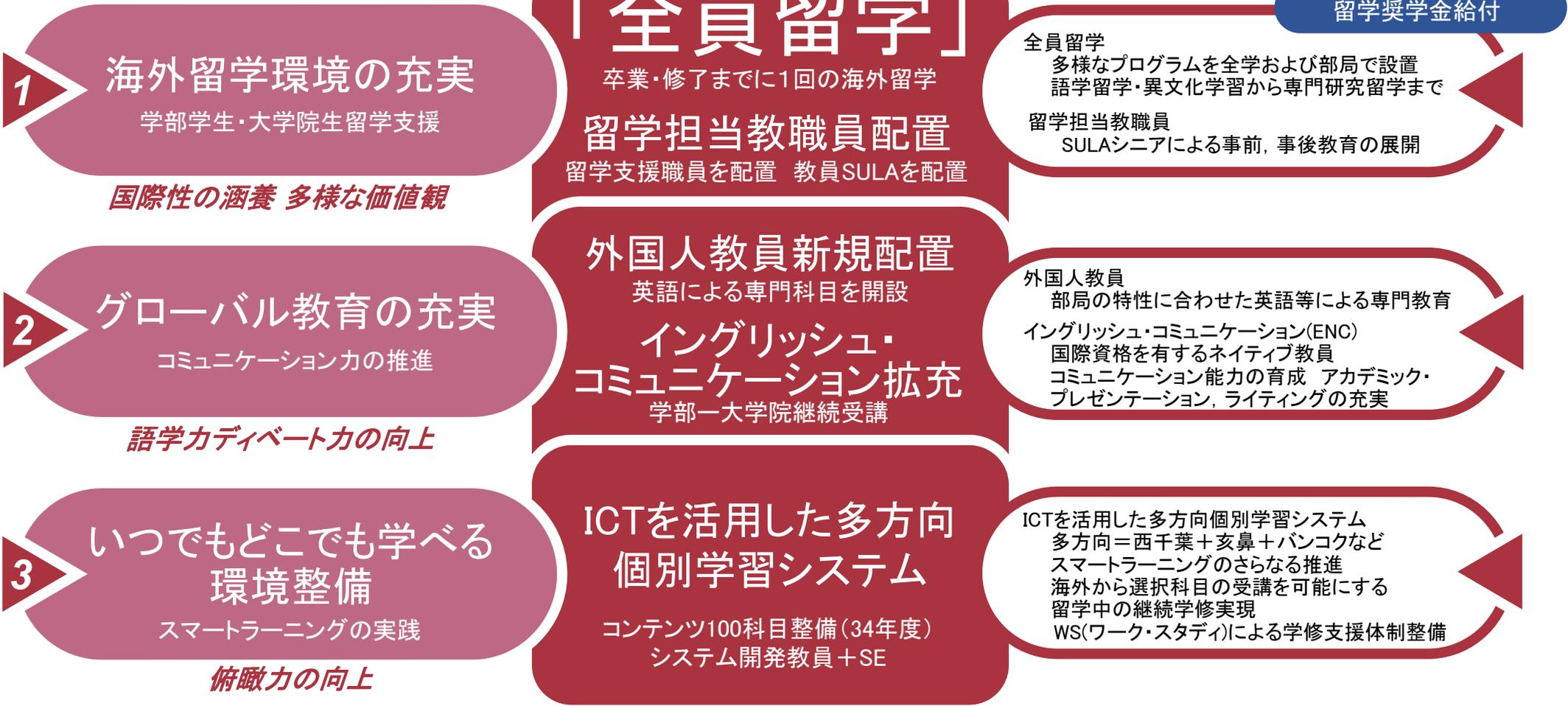
千葉大学グローバル人材育成「エンジン」始動！



*Always  
Aim Higher!*

# 千葉大学グローバル人材育成 “ENGINE”

発信力・自己表現力・コミュニケーション力を備えた世界で活躍する人材

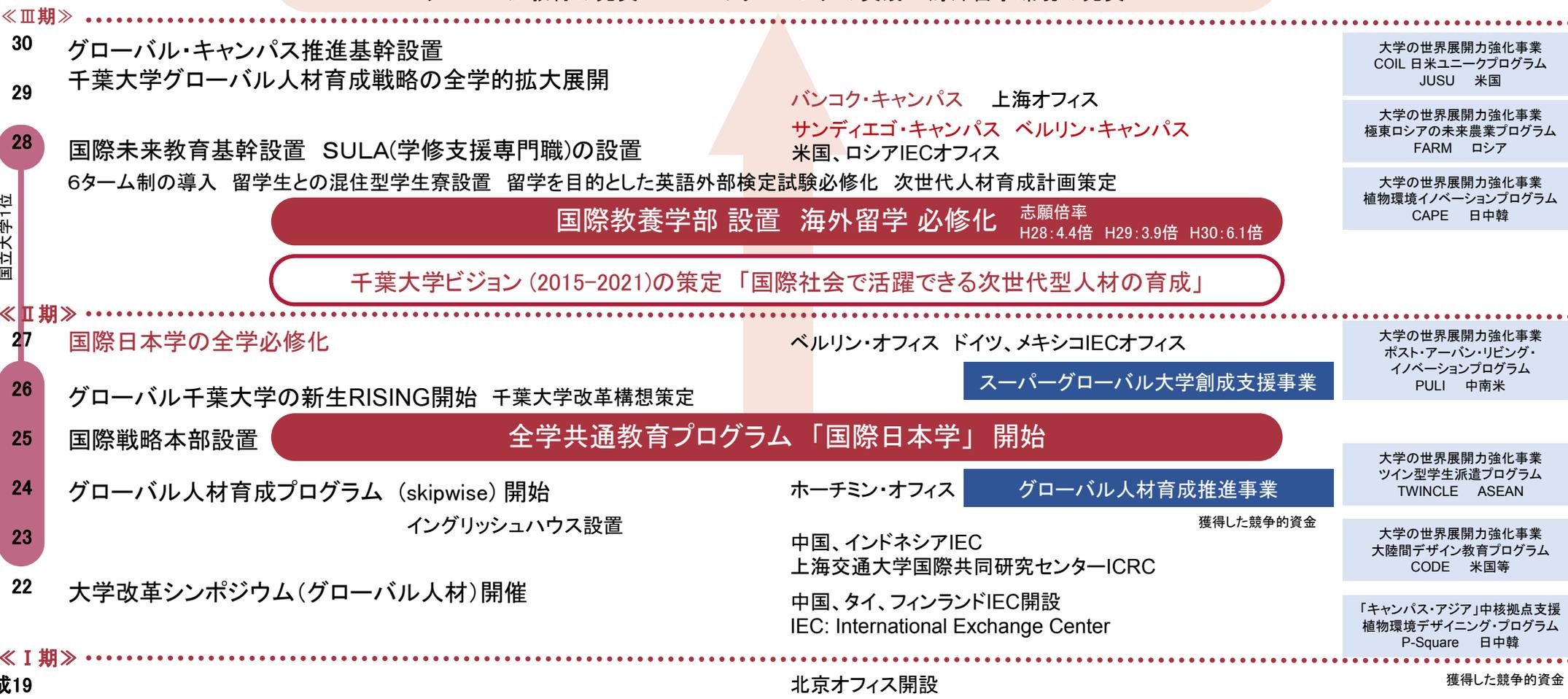


# 千葉大学のグローバル化のあゆみ

## 国際社会の様々な分野において真のリーダーとなるグローバル人材の育成

### 千葉大学グローバル人材育成戦略の全学的拡大展開 グローバル教育の充実 スマートラーニングの実践 海外留学環境の充実

海外派遣学生数  
国立大学1位



# 千葉大学ビジョン(2015~2021)と教育のグローバル化第2フェーズ

GLOBAL + RESEARCH + INNOVATION + BRANDING + SYNERGY

## 千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”

Enhanced Network for Global Innovative Education



千葉大学ビジョン  
第2フェーズに向けた取り組み実現

国際社会で活躍できる次世代型人材の育成  
国際未来教育基幹の創設

教育

GLOBAL

「グローバル千葉大学の新生」の着実な実施  
国際的なネットワークの構築による教育研究拠点の創成

研究三峰-トリプルピークチャレンジ-の推進  
グローバルプロミネント研究基幹の創設

RESEARCH

亥鼻キャンパス高機能化構想による  
治療学創成に向けた未来医療研究拠点形成  
文理の枠を超えた融合型研究の推進

研究

BRANDING

卓越した教育・研究力による国際的な信頼の向上

千葉大学ブランディングの強化 戦略的広報活動の推進  
卒業生・企業・社会等との連携強化

SYNERGY

教職員による協働体制の強化

戦略的な大学運営に向けたガバナンス機能の強化  
多様な人材の活用による教育研究活動の活性化 リスクマネジメントシステムの充実

INNOVATION

次世代を担うイノベーションの創出に向けた  
産業連携研究の推進

研究成果の社会実装へ向けた知的財産の確保と活用  
イノベーション創出人材の育成と組織改革

# 千葉大学の機能別グローバル拠点

## CAMPUS + OFFICE + ICRC + IEC



# 多様な留学プログラム

## Liberal Arts Program + Professional Program + Research Program



### 国際教養学部開学3年間の実績

**216名留学** 国際教養は、平成28年度に設置した千葉大学10番目の学部。定員90名ながら、開学後の3年間で約216名(年間平均72名)が、24カ国33大学に留学している。

**TOEFL-ITP 501** 平成30年度の合格者の45%が英検準1級を取得。プレースメントテストでは、TOEFL-ITPの平均点が501(=TOEIC800=TOEFL iBT61)であり、グローバル人材候補生を裏付けている。平成30年度の入試倍率は6.1倍。

### 国際日本学全学必修化

**1科目全学必修** 平成28年度よりグローバル関連の授業科目群「国際日本学」の必修化を実施。100科目以上の教養プログラムから選択可能。

**国立大学1位** 教養教育レベルの留学プログラムは30プログラムを実施。フード・ビジネス、プログラミング学習などユニークなプログラムを多数設置している。これらのプログラムで平成28年度は793名が留学。平成23-26年度と28年度は国立大学1位の派遣数。平成23年度の359名から見ても倍増している。

### 教育・研究推進プログラムの実施

**7プログラム** 2010年から現在まで、7つの世界展開力強化事業を獲得。プログラムは全て大学院をメインとした教育・研究プログラムであり、事業採択期間終了後も全て継続的に実施している。現在は、4つのプログラムを並行して実施。その全てのプログラムに国際教養学部の教員が参加しており、国際教養学部の学生はプレプログラムとして参加している。

### 終了3プログラムS評価

### 3キャンパスで研究プログラム

**バンコク** 平成29年度にバンコク・キャンパスを設置。学部の教養プログラムから博士課程の共同研究プログラムまで実施。園芸学研究所が研究用植物工場を設置。

**ベルリン** 先進予防医学プログラムをシャリテ医科大学と共同で実施。WHOとの連携プログラムも実施している。

**サンディエゴ** 千葉大学-UCSD国際粘膜炎免疫・アレルギー治療学センターを設置。新治療法を開発。

